

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（交通施設：樋之元線）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町大字下富田						
補助事業の成果の目標	<p>町道 樋之元線は幹線道路である越馬場～今別府線と末永～鬼付女線とを結ぶ1級町道であり、地元住民にとって重要な路線であるが、現在は道路の老朽化による路面のひび割れの発生や平坦生の悪化による振動の発生等、車両の通行に支障をきたしている。</p> <p>このため、改良工事を実施し、交通状況の改善を図り地域住民の安心安全の確保及び利便性の向上を目標とする。</p>						
補助事業の内容	道路改良工事 延長L=541.2m 幅員W=6.5m						
補助事業の始期及び終期	平成27年度から平成29年度						
事業費及び交付金額		27年度	28年度	29年度			計
	事業費	円 2,564,000	円 38,431,382	円 42,698,179	円	円	円 83,693,561
	交付金額	2,381,000	36,000,000	40,580,000			78,961,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>全区間の改良工事が完了となり、路面のひび割れ等が改善され、地域住民へヒアリングを実施したところ「路面の平坦性が解消されたことにより、大型車両通行時の振動等がなくなり、生活が大変快適になった」との意見が寄せられ、地域住民の交通環境の改善に寄与することができた。</p> <p>また、工事施工時に設置する工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記し事業の周知を行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（交通施設：塚原～竹ヶ山線）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町大字新田						
補助事業の成果の目標	町道 塚原～竹ヶ山線は周辺地域の大部分を耕作地が占めており、主に耕作地への出入路としての活用と地域住民の生活交通に重要な役割を持った路線であるが、現道幅員は2.5m程度最も狭小な区間は2.0m程度であるため車両の離合が困難であり、また老朽化による路面のひび割れの発生など車両の通行に支障をきたしている。このため、改良工事を実施し、交通状況の改善を図り地域住民の安心安全の確保及び利便性の向上を目標とする。						
補助事業の内容	道路改良工事 延長L=230.0m						
補助事業の始期及び終期	平成29年度						
事業費及び交付金額		29年度					計
	事業費	円 17,647,153	円	円	円	円	円 17,647,153
	交付金額	17,000,000					17,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>計画区間の道路改良工事が完了となり、地域住民や消防団員等へヒアリングを実施したところ「見通しも良くなり、（木が無くなって）明るくなった。大型農業機械車両との離合も容易になった。」また、「溜水地区へ向かうのに県道を利用していたが、到着まで時間短縮ができるようになった。」などの意見が寄せられ地域住民の生活環境の改善に寄与することができた。</p> <p>また、工事施工時に設置する工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記し事業の周知を行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（交通施設：平田～栗野田線）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町大字上富田						
補助事業の成果の目標	<p>町道 平田～栗野田線は、沿線に新富町役場を含む官公庁施設及び公園等が集中しており、国道10号と役場庁舎等各避難施設を結ぶ本町の重要な幹線道路および避難道路であるが、現況道路は外灯が設置されていないため暗く、また、歩道部についてはバリアフリー化されていないことや、歩道未整備区間がある為、緊急避難時の通行など総合的に歩行者の安全確保に支障が出ている状況にある。</p> <p>さらに、新富複合施設建設に伴い今後の交通量増加が見込まれる為、改良拡幅工事（車道W=10.5m+歩道3.0m×両側）を実施し、通行者の安心安全の確保と利便性の向上を目標とする。</p>						
補助事業の内容	道路改良工事 延長L=300.6m						
補助事業の始期及び終期	平成27年度～平成29年度						
事業費及び交付金額		27年度	28年度	29年度			計
	事業費	円 1,258,500	円 73,563,034	円 59,284,706	円	円	円 134,106,240
	交付金額	1,258,000	70,331,000	57,400,000			128,989,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>全区間の工事が完了となり両側に歩道の整備および外灯の設置が行われ通行者へヒアリングを実施したところ「歩道も整備され、街灯もついたので昼夜を問わず安全に歩ける」との意見が寄せられ、地域住民の生活環境の改善に寄与することが出来た。</p> <p>また、工事施工時に設置する工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記し周知を行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（環境衛生施設：六反田地区排水路）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町大字日置						
補助事業の成果の目標	<p>当排水路は、地域住民の重要な排水路であるが、排水断面が小さく勾配も緩いため排水が常時滞留し、異臭等で地域住民の生活に支障をきたしている。また、豪雨時には当排水路から住宅地内への溢水や敷地冠水がみられ苦情が寄せられている。</p> <p>このため、排水路整備工事を実施し、排水状況の改善を図り地域住民の生活基盤の整備を図る。</p>						
補助事業の内容	排水路整備工事 L=534.7m						
補助事業の始期及び終期	平成25年度から平成29年度						
事業費及び交付金額		25年度	26年度	27年度	29年度		計
	事業費	円 16,909,000	円 8,291,900	円 13,754,985	円 6,170,640	円	円 45,126,525
	交付金額	15,000,000	8,000,000	13,050,000	5,880,000		41,930,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>全区間の排水路整備が完了となり、地域内の排水路が改善され、地域住民にヒアリングを実施したところ、「排水路の通水状況が良くなり、異臭がなくなった。豪雨時の冠水や、溢水などもなくなり今後心配がなくなった。」との意見が寄せられ地域住民の生活環境の改善に寄与することが出来た。</p> <p>また、工事施工時に設置する工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記し事業の周知を行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（環境衛生施設：防犯灯設置工事）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町 地内						
補助事業の成果の目標	新富町は、災害や事故のない安全で安心なまちづくりと、住民生活の利便性を図るため、町内全域の既設灯のLED防犯灯への改修及び地元の要望を受けての増設を計画的に進める。						
補助事業の内容	防犯灯新設・取替(新設 53灯 改修 51灯)						
補助事業の始期及び終期	平成28年度から平成29年度						
事業費及び交付金額		28年度	29年度				計
	事業費	円 6,043,436	円 6,749,520	円	円	円	円 12,792,956
	交付金額	5,778,000	6,372,000				12,150,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	地域住民から「設置により防犯並びに夜間歩行に役立っている」との意見が寄せられ、災害や事故のない安全で安心なまちづくりと、住民生活の利便性に寄与することができた。なお、町広報誌及び防犯灯を設置した柱等に貼りつけたラベルを通じ、可能な限り特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを伝え住民に周知している。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（教育文化施設：上新田小学校施設整備）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町大字上新田						
補助事業の成果の目標	<p>上新田小学校の校舎は、昭和38年3月に建築され、小学校児童の教育の場として現在利用されているが、平成28年度から平成29年度にかけて、小学校校舎を中学校校舎に隣接して建設し、小中学校の一貫校化を行う事業を進めている。</p> <p>これにあわせて、今回、小学校校舎周辺及び児童遊具の整備を行うことで、小学校児童の学習環境の向上及び健康増進をはかるものである。</p>						
補助事業の内容	外構工事 一式						
補助事業の始期及び終期	平成29年度						
事業費及び交付金額		29年度					計
	事業費	円 31,644,702	円	円	円	円	円 31,644,702
	交付金額	30,530,000					30,530,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>学校関係者より遊具の集約化等を図ったことにより以前より使いやすくなった等意見が寄せられ利用性の向上に寄与することができた。</p> <p>また、工事施工時に設置する工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記し周知を行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（教育文化施設：上新田中学校部室棟外）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	宮崎県児湯郡新富町大字新田17053-8						
補助事業の成果の目標	<p>上新田中学校の校舎は、平成16年12月（築11年）に建築され、中学校生徒の教育の場として現在利用されているが、平成28年度から平成29年度にかけて、小学校校舎を中学校校舎に隣接して建設し、小学校を一貫校化する事業を行っている。</p> <p>これにあわせて、生徒が自らの適正や興味・関心をより深く追求していく機会を設けることにより、学習意欲の向上や責任感、連帯感、人間関係の形成等に資するなど学校教育において大きな役割を果たしている部活動のための施設の整備を行うものである。</p>						
補助事業の内容	建築工事 木造平屋建 延べ床面積 97.5㎡						
補助事業の始期及び終期	平成29年度						
事業費及び交付金額		29年度					計
	事業費	円 19,105,200	円	円	円	円	円 19,105,200
	交付金額	18,000,000					18,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>新築された部室棟について、教諭及び生徒へ聞き取り調査を実施したところ、「室内が明るくて使いやすい。」、「道具等も収納でき余裕をもって使用できる。」などの回答が得られ、生徒が活動しやすい施設として整備することができた。</p> <p>また、工事施工時に設置する工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記し、周知を行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	なし						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	なし						

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（教育文化施設：上新田小学校備品整備）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町大字上新田						
補助事業の成果の目標	<p>上新田小学校の校舎は、昭和38年3月に建築され、小学校児童の教育の場として現在利用されているが、平成28年度から平成29年度にかけて、小学校校舎を中学校校舎に隣接して建設し、小中学校の一貫校化を行う事業を進めている。</p> <p>これにあわせて、今回、多様化による時代の学習形態に合わせて児童用の机・椅子等を整備することにより、教育環境の向上を図るものである。</p>						
補助事業の内容	備品整備 一式						
補助事業の始期及び終期	平成29年度						
事業費及び交付金額		29年度					計
	事業費	円 10,516,418	円	円	円	円	円 10,516,418
	交付金額	10,500,000					10,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>学校関係者から以前より使いやすくなった等意見が寄せられ利用性の向上に寄与することができた。</p> <p>また、町ホームページに「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」で本事業が実施された旨を掲載し周知を行った。</p> <p>今後、改めて不具合の解消や利便性の向上が見られるか等、施設利用に支障がないか聞き取りを実施し調査票を提出する。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（教育文化施設：上新田小学校カーテン整備）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町大字上新田						
補助事業の成果の目標	<p>上新田小学校の校舎は、昭和38年3月に建築され、小学校児童の教育の場として現在利用されているが、平成28年度から平成29年度にかけて、小学校校舎を中学校校舎に隣接して建設し、小中学校の一貫校化を行う事業を進めている。</p> <p>これにあわせて、今回、老朽化した小学校のカーテンを整備することにより、教育環境の向上を図るものである。</p>						
補助事業の内容	カーテン整備 一式						
補助事業の始期及び終期	平成29年度						
事業費及び交付金額		29年度					計
	事業費	円 4,044,202	円	円	円	円	円 4,044,202
	交付金額	3,800,000					3,800,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>学校関係者から以前より使いやすくなった等意見が寄せられ利用性の向上に寄与することができた。</p> <p>また、工事期間中、工事看板に「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」である旨を記載し周知を行った。</p> <p>今後、改めて不具合の解消や利便性の向上が見られるか等、施設利用に支障がないか聞き取りを実施し調査票を提出する。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（消防に関する施設：第3部消防機械倉庫）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町						
補助事業の成果の目標	<p>第3部消防機械倉庫は、昭和61年（築29年）に建築され、消防団第3部の活動拠点として利用されている。しかし、錆や腐食などが発生するなど施設の老朽化が進んでいる。</p> <p>また、現在の消防機械倉庫立地場所は道路敷地であり、団員の駐車スペースがなく、やむなく道路上に駐車している状況であり、団員及び通行車両共に大変危険な状況である。</p> <p>このため、消防防災拠点として地区住民の安心安全を確保するため移転新築を行う。</p>						
補助事業の内容	第3部消防機械倉庫実施設計及び建築工事並びに構内舗装工事						
補助事業の始期及び終期	平成29年度						
事業費及び交付金額		29年度					計
	事業費	円 27,162,622	円	円	円	円	円 27,162,622
	交付金額	26,835,000					26,835,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>全体事業完了後、利用する消防団員へアンケート調査を実施し、不具合の解消や利便性の向上が見られるか等、消防活動に支障がないか確認した。</p> <p>また、工事期間中、工事看板に「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」である旨記載したほか、町広報誌でも周知を行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連特定事業（通信に関する事業：新富町有線ラジオ放送施設運営基金）							
補助事業者名	新富町長							
実施場所	新富町							
補助事業の成果の目標	新富町の有線ラジオ放送施設は、迅速かつ正確に災害等の緊急情報や行政情報の提供を行うために整備を行った。 このため、新富町有線ラジオ放送施設運営基金を設置し、有線ラジオ放送施設の維持運営費用に充てることで、有線ラジオ放送施設の安定運用を目標とする。							
補助事業の内容	有線ラジオ放送施設の維持運営のためのIP告知システム運用、保守、サーバハウジング料、IP通信網サービス利用料							
補助事業の始期及び終期	平成26年度～平成35年度							
事業費及び交付金額		26年度	27年度	28年度	29年度		計	
		円	円	円	円	円	円	
	基金 造成 成額	交付金額	53,514,000	34,640,000	36,559,000	25,791,000		150,504,000
		市町村費等	0	0	0	0		0
		運用益	1,395	67,357	92,352	85,700		246,804
		計	53,515,395	34,707,357	36,651,352	25,876,700		150,750,804
		基金処分量	8,862,000	20,203,000	20,203,000	20,203,000		69,471,000
	基金残額	44,653,395	59,157,752	75,606,104	81,279,804		260,697,055	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	IP告知システムの管理、戸別の機器の故障対応等の作業記録(平成29年度：279件)を迅速かつ適切に行われたことが確認され、施設の安定運用が図られた。 また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金(防衛省)により実施されている旨を町広報誌及びHPに掲載することにより、町民へ周知を行った。							
事業の改善措置及び今後の対応	なし							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	なし							

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連特定事業(交通に関する事業:新富町コミュニティバス運営基金)							
補助事業者名	新富町長							
実施場所	新富町							
補助事業の成果の目標	<p>新富町においては、路線バスが唯一の公共交通手段であり、高齢者の通院や買い物など住民生活に欠かせないものである。しかしながら、民営バスは、各路線の採算性から平成28年度から2路線について減便されている。</p> <p>このことから、最寄りの集会所等を停留所とするだけでなく、全区間をフリー乗車・降車可とする住民にとって利便性の高いコミュニティバスを基金事業により、安定的に運行することを目的とする。</p>							
補助事業の内容	新富町コミュニティバスの運営及び車両修理等							
補助事業の始期及び終期	平成25年度～平成34年度							
事業費及び交付金額		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	計	
	事業費	円	円	円	円	円	円	
			4,746,177	4,659,181	4,673,907	3,767,600	17,846,865	
	基金 造成 成額	交付金額	10,000,000	0	10,000,000	0	15,000,000	35,000,000
		市町村費等	0	0	0	0	527	527
		運用益	0	6,000	1,317	20,150	1,487	28,954
		計	10,000,000	6,000	10,001,317	20,150	15,002,014	35,029,481
基金処分額	0	4,746,177	4,659,181	4,673,907	3,767,600	17,846,865		
基金残額	10,000,000	5,259,823	10,601,959	5,948,202	17,182,616			
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【成果及び評価】 コミュニティバスの運行記録により、1日平均(平日)の利用者数はおおむね20名(平成29年度)となっており、公共交通空白地帯の住民の交通手段を確保することができており、地域住民の生活環境の維持に寄与している。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業について、「新田原飛行場関連調整交付金事業」による基金事業により運営されていることを、町広報誌、ホームページにより住民に周知する。 また、車両本体にも同様の表示を行い、走行により利用者に周知を行う。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							